あの頃、ジンジンバオヂュオにー

月日が流れて　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　つきひがながれて

溢れ出す思いで　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あふれだすおもいで

無邪気な君の笑顔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　むじゃきなきみのえがお

少年は今日ネクタイして　　　　　　　　　　　　　　しょうねんはきょうネクタイして

少女との誓いを立てる　　　　　　　　　　　　　　　　しょうじょとのちかいをたてる

鏡を見つめて　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　かがみをみつめて

落ち着きなくして　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おちつきなくして

着飾る君はきっと　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　きかざるきみはきっと

これまでで一番きれいな姿を　　　　　　　　　　これまででいちばんきれいなすがたを

僕に見せてくれるんだろう　　　　　　　　　　　　　　　ぼくにみせてくれるんだろう

あの頃に戻れるなら　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あのごろにもどれるなら

また君の前の席に座るんだ　　　　　　　　　　　　またきみのまえのせきにすわるんだ

もう一度君に恋をして　　　　　　　　　　　　　　　　　もういちどきみにこいをして

いたずらを叱って　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いたずらをしかって

風が吹く季節　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　かぜがふくきせつ

すれ違った恋　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　すれちがったこい

言い出せず　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いいだせず

思い閉じ込めた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おもいとじこめた

君はいつだってそう僕のすべて　　　　　　　　　　きみはいつだってそうぼくのすべて

この世界中にただ一人　　　　　　　　　　　　　　　　このせかいじゅうにただひとり

できるだけ強くああ抱きしめたい　　　　　　　　　できるだけつよくああだきしめたい

輝く満天の夜空に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　かがやくまんてんのよぞらに

汚れなき僕ら　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　けがれなきぼくら

二人で交わした　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふたりでかわした

あの約束を忘れない　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あのやくそくをわすれない

ジンジンバオギュオニー　　　　　　　　　　　　　　　　　　ジンジンバオヂュオニー

慣れない手付きで髪を整えて　　　　　　　　　　　なれないてつきでかみをととのえて

背伸びした立ち姿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　せのびしたたちすがた

君は笑うのかな　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　きみはわらうのかな

笑ってくれるかな　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　わらってくれるかな

喜ぶ顔が見たいの　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　よろこぶかおがみたいの

黒板の数式すら　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　こくばんのすうしきすら

そっちのけでふざけ合っていたよね　　　　　　　　そっちのけでふざけあっていたよね

隣に座る誰もが皆　　　　　　　　　　　　　　　　　　　となりにすわるだれもがみな

君に恋してたよ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　きみにこいしてたよ

いつも思い出す　君が離れない　　　　　　　　　いつもおもいだす　きみがはなれない

何も手に着かないぐらいに　　　　　　　　　　　　　　　なんもてにつかないぐらいに

僕を呼ぶ声も弾ける笑顔も　　　　　　　　　　　　ぼくをよぶこえもはじけるえがおも

今すぐ君にただ会いたい　　　　　　　　　　　　　　　　いますぐきみにただあいたい

儚く散り行くあの流れ星に　　　　　　　　　　　　はかなむちりいくあのながれほしに

何度も何度も願ったよ　　　　　　　　　　　　　　　　　なんどもなんどもねがったよ

小さな幸せ届未来まで　　　　　　　　　　　　　　ちいさなしあわせとどけみらいまで

止まった記憶そのままに　　　　　　　　　　　　　　　　　とまったきおくそのままに

ああずっと　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ああずっと

風が吹く季節　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　かぜがふくきせつ

すれ違った恋　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　すれちがったこい

言い出せず　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いいだせず

思い閉じ込めた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おもいとじこめた

君はいつだって　そう僕のすべて　　　　　　　　きみはいつだって　そうぼくのすべて

この世界中にただ一人　　　　　　　　　　　　　　　　このせかいじゅうにただひとり

できるだけ強くああ　抱きしめたい　　　　　　　できるだけつよくああ　だきしめたい

輝く満天の夜空に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　かがやくまんてんのよぞらに

汚れ泣き僕ら　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　けがれなきぼくら

二人で交わした　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふたりでかわした

あの約束を忘れない　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あのやくそくをわすれない

ジンジンバおヂュオニー　　　　　　　　　　　　　　　　　　ジンジンバおヂュオニー